
1. <水球陣>東日本リーグ 1 回戦

H26.2.23 対明治大 @慶應義塾大学日吉プール

東大 2 2 2 2 計 8

明治大 4 2 6 5 計 17

得点者：浪間（6）、池亀（1）、梶原（1）

一部残留という目標を掲げた東日本リーグの初戦。格上のチームだが、一部残留の為に勝利したい。

第1ピリオド

センターボールを取ったのは明治大学。ドライブを押さえて浪間が退水しパワープレーで明治が得点する。その再開後のセットで浪間がフローティングシュートで得点するが、明治も再開後のセットでフローティングシュートを決める。ドライブで石田の退水を誘発され、パワープレーは守り切ったものの入水後に明治が得点する。藤目が退水を誘発されるも守りきり、池亀がミドルシュートで得点する。ラスト一分でカウンターから明治が得点し、明治が二点をリードして第一ピリオドを終える。

第2ピリオド

第二ピリオドは開始から一進一退の攻防となった。まず第二ピリオド初めに得点したのは明治。その後東大は浪間を中心としたオフェンスで浪間が二得点し、一点差にまで詰める。しかし終盤で明治に得点を許しこのピリオドは同点に終わる。明治が二点のリードを維持したまま前半を折り返した。

第3ピリオド

センターボールを取ったのは明治。序盤は明治がペースを掴みセットで二点、カウンターで一点を決める。ここで東大はタイムアウトを要求。タイムアウト後のオフェンスで浪間がフローティングシュートを決める。再開後、回しこみから浪間がペナルティーを誘発されるもペナルティーシュートを正田がセーブする。その後カウンターにより明治が得点。浪間がフローティングシュートで得点。明治もフローティングシュートで得点しかえす。ここで藤目

が流血でプールからあがる。カウンターで明治が得点し明治が大きくリードして第三ピリオドが終了。

第4ピリオド

センターボールは明治。カウンターから明治が得点。ドライブで崩されて明治が得点。カウンターで明治が得点し、東大はタイムアウトを要求する。カウンターで梶原、浪間が得点するも、明治もカウンターで二点決めて9点差で試合終了。

現役のみで挑む今回の東日本リーグの初戦は大差で負けてしまった。前半は二点差とあまり離されていなかったにもかかわらず後半で大差をつけられてしまったのは、明治と東大に力の差があるということ。この事実をしっかりと受け止め、次の試合に活かしたい。監督をしてくださった三宅さん、試合を観に来てくださった滝澤さん、轟さん、堀江さん、飯塚さん、有吉さん、本当にありがとうございました。

(文責 藤目直也)
